

## 老年看護学概論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 相馬 一二三 准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

### ・学習方針（講義概要等）

超高齢社会を迎えた現在、高齢者は、生きてきた背景や価値観も異なる。核家族で生活している学生にとって、高齢者を身近な存在として関心を持つことから始めていく必要がある。本科目は、ライフサイクルから見た老年期の特徴を理解し、高齢者にとっての健康および加齢に伴う諸機能の低下が高齢者個々の生活にどのような影響をもたらすかを学び、それを支援していく老年看護の在り方を解説し、高齢者の生活の質の確保に必要な高齢者の人権擁護、倫理的課題や社会保障の現状と課題を学び、老年看護の役割を学ぶ。

### ・教育成果（アウトカム）

老年期の特徴（身体的・精神的・社会的側面）を学ぶことによって、老いの影響を受けながらも生活している高齢者の理解が深まる。また、老年期における特徴的な健康障害を学び、健康レベルに応じた看護の必要性を認識でき、高齢者の持てる力を引き出す看護や身体的な苦痛に寄り添う看護を考えることができる。また、高齢者の生活の場は、医療施設のみではなく、様々な施設や職種との連携、協働により、高齢者のQOL向上の支援のあり方や人権擁護の必要性・倫理的な課題を修得できる。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1. 2. 3. 4. 5. 7. 8

### ・到達目標（SBO）

1. 老年期に関する統計的な特徴と将来の推計が理解できる
2. 老年期の身体的・精神的・社会的特徴を理解できる
3. 高齢者の多様性や個々の価値観を理解し尊重した看護が理解できる
4. 高齢者のヘルスプロモーションの必要性を理解できる
5. 高齢者看護の倫理的課題に対する看護のあり方を説明できる
6. 高齢者のQOL向上に関する社会制度の活用と課題を述べるができる
7. 人生の最終段階にある人の意思決定プロセスの特徴と支援する方法を説明できる

・授業日程

(矢) 東 2-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/9	月	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	<p>高齢者に関する統計的特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口構成が理解できる</li> <li>・健康指標から見た高齢者を理解ができる (平均寿命と健康寿命・有訴者率と通院者率・受療状況など)</li> </ul>
4/16	月	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	<p>加齢に伴う心身の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の多様性が理解できる</li> <li>・老年期の発達課題と喪失体験を理解できる</li> <li>・虐待の種類を理解し、看護職の役割を理解できる</li> </ul>
4/23	月	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	<p>老年期のヘルスプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のヘルスプロモーションの必要性が理解できる</li> <li>・生活習慣病の予防と健康増進のあり方を理解できる</li> </ul>
5/7	月	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	<p>高齢者の自立の促進と介護予防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老年症候群、フレイル、サルコペニア、ロコモティブ・シンドロームなど要介護の要因を理解できる</li> <li>・上記ふまえ介護予防の看護が理解できる</li> </ul>
5/14	月	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	<p>高齢者の虐待・看護倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エイジズム・アドボカシー・ICなどの背景と言葉の定義が理解できる</li> <li>・虐待の種類と看護職の役割が理解できる</li> <li>・高齢者医療の倫理的課題を述べるができる</li> </ul>

5/21	月	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	高齢者看護の特性 ・ 高齢者の多様性に対応する看護の重要性を理解できる ・ 高齢者看護に関わる諸理論を理解できる
5/28	月	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	高齢者を支える社会 ・ 高齢者を支える社会制度・社会資源について理解できる ・ 地域包括ケアシステムについて概要を説明できる
6/4	月	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	高齢者と QOL ・ 高齢者にとって QOL とは何か理解できる ・ 高齢者の QOL を向上させる関わりについて説明できる ・ 終末期まで「その人らしく生きる」とはどういうことなのか述べるができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 老年看護学(1)高齢者の健康と障害 第5版	堀内ふき他	メディカ出版	2016
推	死にゆく患者とどう話すか	明智龍男・國頭英夫	医学書院	2016

・成績評価方法

試験 80% + 課題提出・小テスト 20%を総合して評価する。

・特記事項・その他

**【事前学修内容及び事前学修時間】**

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

試験の結果に応じて授業時に解説する。また、レポートに関してはコメントを記載し学生に返す。内容に不足があった場合は、個人指導を行う。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】  
看護師（別表3）：専門分野Ⅱ 老年看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影